



防衛省は、奄美大島の陸自ミサイル基地建設では、 1年以上かけて環境調査を実施しました

I Love いしがき FB ページ 2017年3月26日投稿

九州防衛局発行の奄美大島住民向けの説明パンフがあります（写真1）。

その中に、基地建設は法律や鹿児島県の条例で定めている環境アセスメントの対象事業ではないが、平成27年度から平成28年度にかけて環境調査は行っていると書いています（写真2）。いわゆる「自主アセス」です。

奄美大島への陸自配備予算は、平成27（2015）年度の防衛予算に用地取得費32億円がついたのが最初です（写真3 平成27年度防衛予算概要より）。

パンフの工程表を見ると、その後1年以上をかけて環境調査を行い、それと平行して用地取得交渉を進めたようです（写真4）。

防衛省が石垣島に陸自ミサイル基地を置くつもりなら、その前に、奄美大島と同様に、沖縄県の条例に沿った環境アセスメントを自主的に行って、結果を説明してもらわなければなりません。

まだ用地取得予算もついていない状態なのに、実質上の用地取得交渉（「配備の手続き」）を始めていますが、これは順序が逆です。いずれ、平成29年度補正予算あるいは平成30年度概算要求に取得費を盛り込むつもりなのでしょう。私たちは断固反対しますが、仮にその予算がついたとしても、それ以後に1年以上をかけて環境調査をしてもらわなければなりません。市有地を売ったり貸したりする話をするのは、その後です。

奄美大島への部隊配備について

平成28年 6月



質問 駐屯地建設の際、環境アセスメント(環境影響評価)は実施されますか。

奄美市・瀬戸内町に整備する両駐屯地ともに法律・鹿児島県条例で定める環境影響評価の対象事業及び規模ではありませんが、防衛省では、昨年度から継続して環境調査業務を行っているところです。

駐屯地整備は、環境調査の結果を踏まえ適正に進めて参ります。

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律で捕獲・採取等が禁止されている種(奄美関係分:9種)

アマミヤマシギ



フチトリゲンゴロウ



アマミテンダ



ヤドリコケモモ



コメキノエラン



アマミ/クロウサギ



オースンオオアカゲラ



アカヒゲ



オオトラツグミ



文化財保護法で保護されている
国指定天然記念物(奄美関係分:9種)

トゲネズミ



ルリカケス



オカヤドカリ



ケナガネズミ



カラスバト



- 南西警備部隊の配置（3.2億円）
島嶼防衛における初動対処態勢を整備するため、警備隊等の配置に関連する奄美大島の用地取得経費等を計上



警備部隊の配置候補地

質問 駐屯地や宿舎はいつごろ完成するのですか。

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度～
駐屯地施設整備	基本構想	基本設計 測量調査等 環境調査 用地交渉・取得 造成設計	敷地造成 実施設計	建設工事等(奄美CC) 建設工事等(節子地区)		部隊新編予定
宿舎整備		用地交渉・取得	測量調査 設計	建設工事等		